

## 第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

### 応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012 年 12 月 7 日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	<p>(フリガナ) カヌチャベイリゾート</p> <p>株式会社カヌチャベイリゾート</p> <p>(団体名)</p> <p><small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small></p>
応 募 担当者 連絡先	<p>団体名： 株式会社カヌチャベイリゾート</p> <p>所在地： 〒905-2263 沖縄県名護市安部 156-2</p> <p>部署名： 企画総務部</p> <p>役職名： 環境マネジメント担当</p> <p>氏 名： 中嶋博之</p> <p>TEL： 090-8668-2267      FAX： 0980-55-8167</p> <p>E-Mail： nakajima-h@kanucha. co. jp</p>
ホームページ	http://www.kanucha.jp/
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>■ホテル、レストラン、レジャー施設、ゴルフ場の運営</p>	

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

### 応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カヌチャリゾート・スターダストファンタジア

#### 2. カーボン・オフセット活動の概要

##### <カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

##### 【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver. 1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki jun.pdf>

##### <カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

対象：カヌチャリゾートスターダストファンタジア（イルミネーション）

バウンダリ：カヌチャリゾートスターダストファンタジア開催期間における電力使用

##### <カーボン・オフセットの取組の実施期間>

■カヌチャリゾートスターファンタジア 2012  
2012年11月1日～2013年2月14日（予定）

■カヌチャリゾートスターファンタジア 2011  
2011年11月1日～2012年2月14日

■カヌチャリゾートスターファンタジア 2010  
2010年11月1日～2011年2月14日

## <カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

- カヌチャリゾート カーボン・オフセット紹介（別添①）  
<http://www.kanucha.jp/eyanbaru/carbonoffset.html>
- ファンタジアメッセージタグ紹介（別添②）  
[http://www.kanucha.jp/stafan2012/wish/message.html#wishing\\_point](http://www.kanucha.jp/stafan2012/wish/message.html#wishing_point)
- ファンタジア環境への取り組み紹介（別添③）  
<http://www.kanucha.jp/stafan2012/environs/index.html>
- 琉球新報（別添④）  
<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-169575-storytopic-5.html>
- 内閣府沖縄総合事務局 広報誌『群星（むりぶし）』第342号（別添⑤）  
<http://www.ogb.go.jp/mur i/bk/2012/20120708/0708tokusyu02.pdf>
- 環境ビジネス 2011年1月号（別添⑥）

## 3. 1次審査項目

### ①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

#### （自己活動オフセット支援以外の場合）

##### ①-1 算定方法

[イルミネーションでの電力使用量] × [排出係数]

##### ①-2 計算詳細

項目	2010年	2011年	2012年（予定）
CO2 排出量	112.8t-CO2	216.9t-CO2	168.3t-CO2
オフセット量	113t-CO2	217t-CO2	169t-CO2

##### ①-3 排出量の算定に利用したデータ種類

イルミネーションでの電力使用量

### ②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電    節水    廃棄物の減量化    省電力機器の導入    公共交通機関の利用・呼びかけ  
 その他（点灯時間の集約（短縮）化）

### ③オフセットの手続き

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

- 2010年  
国内クレジット 100%
- 2011年  
国内クレジット 100%
- 2012年（予定）  
国内クレジット 99.5%  
J-VER 0.5%

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

■2010年

排出権創出事業者	排出権創出事業	識別番号	オフセット量
国立大学法人琉球大学	大学における照明設備の更新（LED化）・太陽光発電設備の導入、変圧器の更新	00353-1 ~ 00353-30	30t-CO2
株式会社松島木材センター	製材工場における空調設備の更新（重油→木質バイオマス）	00418-1 ~ 00418-83	83t-CO2

■2011年

排出権創出事業者	排出権創出事業	識別番号	オフセット量
株式会社アマタケ	プロイラー農場におけるボイラーの燃料転換（重油→木質バイオマス）	00354-226~00354-235	10t-CO2
株式会社ホテル森の湯	温浴施設におけるヒートポンプの導入による給湯設備の更新（LPG→電気）	00532-90~00532-91	2t-CO2
協同組合盛岡南ショッピングセンター	ショッピングセンターにおける照明設備の更新	00283-102~00283-111	10t-CO2
有限会社トミーランドリー	リネン工場におけるボイラー高効率化による排出削減事業	00383-320~00383-473	154t-CO2
ニッポンレンタカー沖縄	レンタカー事業における電気自動車の新規導入	00868-1	1t-CO2
国立大学法人琉球大学	大学における照明設備の更新（LED化）・太陽光発電設備の導入、変圧器の更新	00353-41~00353-60	20t-CO2
株式会社先島ガス	ビジネスホテルにおける空調設備の更新（LPG→LPG）、蛍光灯からLEDへの更新および給湯設備の更新（灯油→LPG）	00791-9~00791-28	20t-CO2

■2012年（予定）

排出権創出事業者	排出権創出事業	識別番号	オフセット量
国立大学法人琉球大学	大学における照明設備の更新（LED化）・太陽光発電設備の導入、変圧器の更新	00353-141 ~ 00353-190	50t-CO2
ニッポンレンタカー沖縄株式会社	レンタカー事業における電気自動車の新規導入	00868-5 ~ 00868-6	2t-CO2
株式会社ケディカ	めっき工場におけるボイラーの更新（灯油→都市ガス）	00787-175~00787-179	5t-CO2
株式会社ジョイス	食品スーパーにおける照明設備の更新（LED化）	00760-118~00760-127	10t-CO2
株式会社アマタケ	プロイラー農場におけるボイラーの更新（重油→木質バイオマス）	00134-119~00134-123	5t-CO2
株式会社アマタケ	プロイラー農場におけるボイラーの燃料転換（重油→木質バイオマス）	00354-266~00354-280	15t-CO2
フクシマフーズ株式会社	食品工場におけるプロセス用蒸気ボイラーの燃料転換（重油→天然ガス）	00117-1719 ~ 00117-1764	46t-CO2
協同組合盛岡南ショッピングセンター	ショッピングセンターにおける照明設備の更新	00283-160~00283-179	20t-CO2
有限会社トミーランドリー	リネン工場におけるボイラー高効率化による排出削減事業	00383-628~00383-642	15t-CO2
岩手県（J-VER）	岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト	JP-200-000-000-032-362	1t-CO2

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

■2010年

償却日 2011年11月15日

■2011年

償却日 2012年2月21日

■2012年

償却期限 2013年3月末日（予定）

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

### 応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

① CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。

毎年11月初めから翌年2月中旬まで、冬季の約4ヶ月間を華やかなイルミネーションで彩る事は、シーズンオフの沖縄観光を盛り上げるために欠かすことが出来ない要素である一方、華美な演出を如何に少ないエネルギーで創出するかが課題となっております。冬季における沖縄の定番イベントに成長したカヌチャリゾートのスターダストファンタジアでは、光源のLED化によるハード面の削減努力（LED化率：7.8%（2010）→32.2%（2012））に加え、点灯時間の集約（短縮）化によるソフト面の削減努力（5～6時間/日（2010）→4～5時間/日（2012））を実施し、モノ（ハード）とヒト（ソフト）が共演する事により華やかな演出とエネルギー消費を高いレベルでバランスをとっています。

②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

弊社の他、イルミネーションを見学されるお客様と、イベント出演される多数のアーティストが主な関係者となります。当初は、当イルミネーションは入場無料で開催しておりました。しかし、スターダストファンタジアはお客様と共に創り上げてきたイベントであり、オフセット行為についてもお客様を外す訳にはいきません。数年前より入場料を頂く事とし、お客様と弊社との協働演出によりカーボン・オフセットを実施し、お客様の理解が形となって継続しております。一方、イベント出演されるアーティストには原則として出演料をお支払いしていません。その浮いた経費の一部もまたカーボン・オフセットに投資させて頂いております。即ち、フルカーボン・オフセットの主旨に賛同する出演者と、その出演者に共感するお客様の理解と協力がスターダストファンタジアというイルミネーションイベントに形を変えて実現しているのです。

#### 2. カーボン・オフセットの内容

①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について

カヌチャリゾートではホテルマンのホスピタリティを環境保全にも向けるべきであると考え、我々の事業により自然環境を犠牲にする事は自社の考えるサービスの在り方とは異なるという認識を持っています。そもそも、沖縄観光は青い空、青い海に代表されるように自然環境に支えられている事は明白であり、自然環境の保全は自社の事業継続性に直結する意義高いものと認識しております。その代表的な手法である、カーボン・オフセットへの取り組み・重要性は弊社の事業にとって必然的な位置づけとなっております。

②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについて

環境に対する意識を高く保ち、照明のLED化やレンタカーに電気自動車を採用など、様々な環境配慮活動を実施しております。イルミネーションは多量の電力を使用するため、多くのCO2を排出しますが、観光と環境への配慮を両立する新たな「環境への配慮」の形を目指し、2008年よりカーボン・オフセットに取り組んできました。カーボン・オフセットに用いるクレジットは被災地県及び沖縄県で創出されたクレジットを用いており、被災地の復興支援や沖縄県のCO2削減事業を応援することにつながります。本取組を継続することにより、今後も新たな「環境への配慮」の形を発信し続けていき、日本国内の環境への意識向上を促進することに貢献します。

今後もカヌチャリゾートは環境配慮活動を実施し、その手段の一つとしてカーボン・オフセットを推進していきます。

#### 3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献

東日本大震災の被災地企業で生み出された企業のクレジットを購入することによる復興支援活動へ寄与すると共に、沖縄地域で創出された国内クレジットの使用により、クレジットの「地消地産」への貢献を実施しています。

③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献

沖縄本島は南北130kmの距離しかなく、走行距離の限定されるEV（電気自動車）の普及に適しているとされ導入が盛んである一方、石炭火力比率が大きい発電側のCO2削減策の1つとして、カヌチャリゾート内に安部メガソーラー（沖縄電力）が建設されています。スターダストファンタジアは全量オフセットされていますが、この取り組みから県内企業のEV導入や電力会社の意識高揚、しいてはEVをバックアップ電源とした電源供給など、台風による停電被害に悩まされる沖縄でのエネルギー供給や事業の在り方について、それぞれの事業が連携し、他地域から参照される先導的モデルに成長する要素を兼ね備えています。

④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

世界自然遺産登録が検討されている沖縄県北部のやんばる地域で実施されているイルミネーションイベントとして、全量オフセットされている事が、外国人観光客を介して広く世界に波及し、カーボン・オフセットを活用したイベントのあり方として効果的にPRされる事が期待されます。

## 4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。

かつて、スターダストファンタジアは見て楽しむだけのイルミネーションイベントでした。もちろん、旅行会社が公開するツアープランにカーボン・オフセットの情報を載せる一方、新聞、テレビCM、ラジオ、WEBといった広報媒体を通じて、広く観光客や沖縄県民の皆さまにカーボン・オフセットの認知に貢献することを実施しています。

しかし、「自分ごと化する」という意図で最も効果を発揮しているのは、「ファンタジアメッセージタグ」の導入だと考えています。お客様1人1人の願いをハート型のメッセージタグに書き込んで頂き、リゾート内のウィッシングポイントにタグを掛けて頂いております。このたった1枚のタグにより、お客様1人1人の個別の想いが具現化され、サービスを受ける立場であったはずのお客様がイベントの参加者になって下さいます。メッセージを拝見致しますと、そこには実に多くの「また、来れますように!!」という熱い想が多くみられます。お客様のこれらのメッセージは私たちにとって環境保全活動のエンジンそのものに他なりません。カブルのお客様であれば、いずれ生まれるであろうお子様の世代、しいては孫の世代まで私たちはお客様に来て頂き、このメッセージを伝え続けなければなりません。

その為に必要な事は、次世代まで美しい自然を引き継ぐため、その1つの手法であるカーボン・オフセット活動を継続する事だと考えております。

- ② 人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

「お客様から頂く料金の一部は、カーボン・オフセットに使用されます。」これまで無料で入場できたカヌチャスターダストファンタジアが、有料になりました。それでも、お客様が途絶える事なく来て下さっている事実が、人々や社会の評価そのものだと考えています。

沖縄県内でも初期からカーボン・オフセットを実施し、継続していることから、行政の方々からは、「カヌチャが牽引する形でここまで広がってきた。」という評価を頂いております。また、今年度は内閣府沖縄総合事務局内で開催された平成24年度第1回沖縄地域国内クレジット制度推進ネットワーク会議（平成24年度国内排出削減認証・取引制度基盤整備事業）において事例紹介させて頂くなど、弊社での事例を行政が媒体となり、広く沖縄県内に広がるスキームに貢献する事ができました。

また、他の宿泊施設からは、「カヌチャが続けているから、イルミネーションをオフセットする事は常識だと説明できるようになった。」という声が聞こえる等、業界への広がりにも貢献することが出来ました。

## 5. ストーリー性

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。

カヌチャスターダストファンタジアにおけるカーボン・オフセットは、カヌチャリゾートにとって最初の環境保全活動と言えると思います。リゾートホテルは多岐に渡る業種が集積していますが、それぞれの専門分野において業界を牽引するという高い意識を持ったスタッフ達がそれぞれの立場で異なる環境保全活動を実施し、それが1つのリゾート内で達成され、年間20万人を超えるお客様に体験して頂きながら、お客様が住んでいる地域に持ち帰って頂き、世界中に波及するという形で循環が構築されています。

また、沖縄県内の約40余りの企業が参加し、カヌチャリゾートが事務局を務めている沖縄県EV普及促進協議会は、第14回グリーン購入大賞・経済産業大臣賞を受賞し、沖縄の環境保全と経済発展と産業振興を同時に解決するという目的を達成すべく邁進しています。そのチームの中から、日本初となるEVの新規導入という方法論で国内クレジットが創出されました。

- ② こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

当初は海外のクレジットを活用していましたが、最近オフセットに用いるクレジットは、大別して①復興支援②クレジットの地産地消（沖縄県内）に主眼を置いて選定しています。今年度は、それらに加え、リゾート事業に関連の深い、食やリネンに関する分野から創出されたクレジットを優先的に選定し、業界内での循環を考慮しています。中でも、クレジットの約1%にあたる日本初となるEVから創出されたクレジットは、ニッポンレンタカー沖縄㈱から創出されたクレジットで弊社のグループ会社にあたります。つまり、環境保全活動は、1企業での努力を初めとして、お客様や関連するパートナーと繋がりながら、グループ企業、同じ業界、自社の在る地域、他の地域へと広がり、それぞれの試みを互いに見ながら切磋琢磨しています。

既にカーボン・オフセットは、ソーシャルビジネスやコミュニティデザインのツールとして機能し始めています。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDFの場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局  
(担当：入山、井上)

〒東京都港区芝公園3-1-8 芝公園アネックス7階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp